

和歌山だよい

平成22年
(2010)

10月号



救馬溪観音 (上富田町)

CONTENTS

1. 知事メッセージ…………… P1
2. 和歌山県政トピックス…P2～P7
3. お知らせ…………… P8～P9
4. ふるさと歳時記…………… P10



リンドウ (竜胆)

「知事の感激」

知事として生まれ故郷のために奉仕することを許していただいてからあっという間に4年になります。その間かつてないほどの企業誘致を達成し、日本中世界中を観光と物産のセールスマンとして駆け巡り、教育・少子化・高齢者・医療・過疎対策、中小企業振興、農林水産業のかさ上げ、公共調達、財政再建、町おこし、村おこしなど200に近づこうとする改革(チェンジ)を休む暇なく行ってまいりました。今までと違うことをしなければならぬのはつらいはずなのに県職員もよく付いてきてくれたし、県民の皆さんの奮起、貢献には心救われる思いでした。成果も少しずつは出ています。しかし、まだ足りません。人口流出は随分減りましたが、まだ増加まではいきません。インフラも大分完成したけれど、まだまだです。治安も非行も不登校も改善されてきましたがまだまだです。産業の力も同様で、ほとんどの県民の方は、まだつらいことばかりなのがよく分かります。だから改革はやめるわけにはいきません。後戻りはできません。

そういう時、リーダーは何が期待されるか。まず情熱や志です。個人の野心やバックにいる人々の利益のために動こうとする人は論外でしょう。次は、何が問題の原因か見抜く力です。私は経験や知識から、この和歌山のつらさの原因がいやというほどよく分かります。しかし、分かるだけではただの学者であり評論家です。問題があれば直さないといけません。それに献身しないとイケません。しかし、間違った方法や手段でそれをやると効かなかったり、副作用が出たりします。したがって第3に、人以上に行政の技術が大事になってきます。名医がよい見立てをして正しい治療をしてくれる、あの力が必要です。それから第4に、飽きず、あきらめず、なまけず、努力を続けなければなりません。

こう書くとつらいことばかり、この4年間、毎日毎日、寂しく暗く頑張ってきたようですが、そんなことはありません。地域地域で、にっこり笑って励ましてくださる方々に会うと本当に感激します。若い人々が単身海外に販路開拓に出かけたりするのを見ると心強くなります。それぞれの地域で社会に奉仕してくれる人々に会うと頭が下がります。礼儀正しい子ども達に接すると、我々大人がもっともっと頑張らねばと勇気がわいてきます。この4年間、知事の感激をいっぱいいっぱい頂戴しました。ありがとうございました。



「紀州うめフォーラム2010」での仁坂知事。みのもんたさんをゲストに迎えて
(関連記事P3)

今月の和歌山県政トピックス

* 最近の県政の動きや県内の話題などをピックアップしてお届けします。

● 2010年上海国際博覧会に「和歌山県の日」参加！！

・ 10月8～10日の3日間、上海国際博覧会で日本政府が出展している日本館イベントステージに、「和歌山県の日」として参加しました。

・ 8日には、仁坂知事が和歌山県内の温泉や豊かな自然に代表される観光の魅力、空海が開山した高野山・熊野信仰の中心となる熊野三山からなる高野熊野世界遺産等を紹介し、和歌山県を大いにPRしました。また、和歌山県の食の魅力についても紹介し、なかでも梅干しの効能に関する説明には、来場者も熱心に聞き入っていました。

・ 和歌山県のPRに続き、和歌山児童合唱団による「和歌山 歌の交流ステージ in 上海」を催しました。「夕焼けこやけ」などの日本のわらべ歌に加えて、中国唱歌「海は故郷」を歌いはじめると、来場者も一緒になって歌いだすなど会場は多いに盛り上がりました。

・ ステージ終了後には、浴衣姿の合唱団児童・上海和歌山県人会スタッフとの記念撮影や折り紙体験コーナーで一緒に折り紙を折るなど来場者との交流を深めました。

・ 会場内には物販コーナーを設け、和歌山の梅酒や梅干しの販売を行いました。

・ また、「徐福」をナビゲーターとした紹介映像の上映や展示パネルにより、和歌山県の観光・食の魅力の紹介を行いました。ステージイベントと相俟って物販コーナーを訪れたり、展示・映像に見入る来場者で会場は終日賑わいました。

・ 3日間の日本館イベントステージ出展期間中、約40,000人の来場者がありました。大勢の方に和歌山県をPRすることができ、今後の中国からの観光客誘致、中国市場への県産品のセールスに向けて有意義なものとなりました。



仁坂知事が和歌山県をPR



和歌山 歌の交流ステージ in 上海



物販コーナー

●「紀州うめフォーラム2010」開催！！

～梅の優れた機能性・おすすめレシピを首都圏でPR～

・10月4日、紀州梅の美味しさや優れた機能性を広くPRすることを目的として、東京の「恵比寿ガーデンプレイス」において、うめのフォーラムを開催しました。多くのマスコミ・一般関係者に参加いただき、大いに賑わいました。



・第1部では、マスコミ関係者に主催者である紀州梅の会（会長：田辺市真砂市長）による梅産地概要等の説明の後、梅が持つ優れた5つ効能（①血液をサラサラにし、動脈硬化や糖尿病に効く②疲労回復、熱中症に効く③胃がんの防止に効く。ピロリ菌の活動を抑制する④骨粗しょう症に効く⑤インフルエンザに効くと言われている）など機能性に関する最新の研究成果について3名の研究者から発表がありました。また、人気の野菜ソムリエである「KAORU」



さんより、梅干しや梅酒を使って手軽に作れる3品の料理が紹介されました。

83種・1万個の梅干しを展示・試食

・一般の方も交えた第2部では、スペシャルゲストとして、「みのもんだ」さんが会場に駆けつけ、来場者とともに多種多彩な梅干しや梅料理、梅酒を味わうなど、紀州梅の認知度アップに一役買っていただきました。

・首都圏におけるこのようなPRイベントは初の試みでしたが、首都圏の消費者の方々に紀州梅の良さを直接PRできたばかりでなく、梅産地の生産者団体・加工業者と首都圏のマスコミとの間に新たな繋がりを醸成できるなど、今後の紀州梅の消費拡大に向けた有意義なフォーラムとなりました。

● 双子の赤ちゃんパンダ命名！！

・10月8日、「白浜アドベンチャーワールド」で元気いっぱいにすくすく育っている生後約2ヶ月の双子の赤ちゃんパンダに素敵な名前がつけました。



【オス】命名：海浜（かいひん）

【名前に込められた願い】美しい海辺と自然に恵まれた白浜で生まれ、おおらかな海のように、人々にやすらぎと希望を

与える立派な雄として、大きく成長して欲しいとの願いが込められています。



【メス】命名：陽浜（ようひん）

【名前に込められた願い】美しい海辺と自然に恵まれた白浜で生まれ、あかるい陽（ひ）の光のように、人々に笑顔と幸せをもたらす、愛される雌として、元気で朗らかに成長して欲しいとの願いが込められています。

●「きのくにスポーツフェスティバル 2010 総合開会式」開催！

・9月18日、「きのくにスポーツフェスティバル 2010 総合開会式」が和歌山ビッグホールで盛大に開催されました。

・7月7日に開催が内定した第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」に向けて、県民のスポーツに対する気運を醸成し、県民総参加の体制づくりを進めるために県内各地でプレイベントが開催されます。

・「きのくにスポーツフェスティバル 2010 総合開会式」は、それらすべての開会式として行われ、各市町村への国体啓発懸垂幕の授与や長年にわたり県内スポーツの振興に尽力されてきた方々に対し感謝状の贈呈を行いました。

・「I love sports!!」と題して、和歌山県出身のレスリング競技北京オリンピック銅メダリスト 湯元健一さん、体操競技世界選手権オランダ大会日本代表 田中理恵さん、智弁学園野球部監督 高嶋仁さん、陸上競技オリンピック銅メダリストの朝原宣治さんを招き、トップアスリートの方々のスポーツに対する本音トークや、トランポリン日本代表による、トップアスリートエキシビション、そしてレスリングやフェンシング、アーチェリーなどの競技の体験コーナーを設け、スポーツの魅力をたっぷり体験できる1日となりました。



スポーツ教室の様子

●関西独立リーグ「紀州レンジャーズ」 後期公式戦初優勝！！

・プロ野球独立リーグである「関西独立リーグ」において、和歌山市を本拠地とする紀州レンジャーズが2010年度後期公式戦で初優勝を飾りました。

・9月に行われた年間優勝チームを決定する「グランドチャンピオンシップ」では、前期公式戦で優勝した神戸ナインクルーズに惜しくも敗れ、年間チャンピオンの座を逃しましたが、来シーズンに向け大きな糧となりました。

・紀州レンジャーズが今後も益々活躍できるよう、皆様方のご声援よろしくお願いたします。

●「企業の森」事業に1団体が参画し、56箇所

・9月29日、警備業を行う事業者で構成する「和歌山県警備業協同組合」が「企業の森」事業に新たに、参画することとなり、県庁で調印式を行いました。（写真）

・「企業の森」は県内で現在55箇所あり、今回の「和歌山県警備業協同組合「安心・安全の森（田辺市）」の参画で56箇所となります。「安心・安全の森」は、今後10年に亘り、ウバメガシ、ヤマザクラ、コナラ等を育林していく予定です。和歌山県長期総合計画では、100箇所に増やす目標を掲げています。



●わかやま版「過疎集落支援総合対策」第2弾の取組開始！！

・県内の過疎市町村は、平成22年4月1日現在で16市町村、その面積は県の72.7%を占めますが、人口は25.1%となっています。

・8月号でお知らせしました、わかやま版「過疎集落支援総合対策」第1弾、7市町村8生活圏に追加して、今回、第2弾として2町4生活圏で取組みを開始します。

・わかやま版「過疎集落支援総合対策」は、住民生活の一体性を重視した過疎生活圏という地域（例：昭和の合併前の市町村）を対象に、地域住民や市町村、県が一緒になって昔風の「寄合会」を作り、それぞれの課題解決に向けて話し合い、地域の再生、活性化に取り組んでいくものです。

・第1弾の生活圏では、全ての地域で寄合会が組織され、地域の特産物の育成や鳥獣害対策の充実による産業活性化や高齢者への交通対策、食料品等の必需品の確保など生活を守る課題に対する具体的な方策の検討が始まっています。

第2弾 新たな取組開始生活圏

市町村名	過疎生活圏	人 口
有田川町	八幡	2, 1 5 2人
	四村・粟生	7 4 2人
	安諦	5 5 3人
みなべ町	清川	8 7 7人

●本県への企業立地件数が79件になりました！

・この度、ヤマトコンタクトサービス株式会社（東京都）が同社初となる地元支援型新サービスの事業展開のため、和歌山市へコンタクトセンターの設置を決定しました。

・同社の企業進出により、平成19年以来の企業立地件数が79件となりました。

・同社は、農家・商店に代わって消費者に商品の販促活動や受発注業務、顧客管理等を行うコンタクトサービスを提供します。こうしたサービスにより、県産品の販路拡大、コンサルティング業による県内生産者等の振興が期待されます。

●和歌山県の企業が国内外の展示会に集団出展！！

・県では「わかやま産品販路開拓アクションプログラム 2010～和歌山県工業製品の販売促進戦略～」を策定しました。これに基づいて、企業の展示会出展を支援するなど、県内の優れた製品を国内外に売り出していくことに積極的に取り組んでいます。

・10月に海外で開催される、下記の2展示会に県内企業が集団出展することになりました。今後とも、国内外の著名な展示会への出展を積極的に進めていきます。

① 《「interstoff.ASIA essential -Autumn-」(インターストップアジア・エッセンシャル (秋))》

[香港：10/6～8]

・ファッションブランドの大手バイイング・オフィスが数多く立地している香港で開催され、欧州ブランドのバイヤーがたくさん来場する先進アパレル展示会です。この展示会に、本県から紀州繊維工業協同組合の5社がはじめて出展します。

② 《「JFW JAPAN CREATION (2011 AUTUMN/WINTER)」(ジャパン ファッション ウィーク ジャパン クリエーション)》 **[東京ビッグサイト：10/13～15]**

・日本の繊維関連産業の素材力と技術力、高感度(ジャパン・クオリティ)を発信する繊維国際見本市です。この展示会に、本県の繊維業界から紀州繊維工業協同組合の6社が、皮革業界から和歌山県製革事業協同組合の10社が出展します。

●第3回「プレミア和歌山」推奨品決定！！

・10月6日、安心・安全を基本に「和歌山らしさ」「和歌山ならではの」の県産品を認定・推奨する和歌山県優良県産品（プレミア和歌山）の第3回推奨品を決定しました。

・仁坂知事から83品目56事業者の推奨品を発表したあと、プレミア和歌山推奨品審査委員会一柳委員長から、推奨品の講評と今回から新設された審査委員特別賞の発表・表彰式が行われました。

・審査委員特別賞に選定された推奨品は次の3品です。

- ・鯖棒寿司（㈱笹一）
- ・海の生ハム（南紀勝浦漁協食品㈱）
- ・本竹皮包み羊羹 塩（有紅葉屋本舗）



・携帯サイトは？



第3回プレミア和歌山推奨品は？こちらでご覧出来ます。

・<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/061000/premierwakayama/dai3kaikettei.html>

●「平成22年度 第3回プレミア和歌山推奨品 認定一覧」

認定者	推奨品の名称	認定者	推奨品の名称
株式会社勝僖梅	勝喜梅 甘仕立て	株式会社吉村秀雄商店	リキュールももちま
	勝喜梅はちみつ仕立て		リキュールじゃばら
百福梅本舗有限会社	はちみつ梅		
	かつお梅	中勝酒造株式会社	紀州うめさけ
株式会社いなみの里梅園	はちみつ入り味梅	桃りゃんせ夢工房	あら川の桃いり金山すみそ
	しそ風味・優梅	堀河屋野村	徑山寺味噌
	こんぶ風味	公立学校共済組合和歌山宿泊所 アバローム紀の国	ヤンキーシェフのドレッシング 紀州南高梅
株式会社ノームプランニング	紀州四季の梅 しそ風味	株式会社伊藤農園	ピュアフルーツ寒天ジュレ みかん
南紀梅干株式会社	紀州「南高梅」蜜宝梅®	小南農園	まるごと田村みかんゼリー
	紀州「南高梅」香実®	有限会社あんちん	あんちんの梅つりがね饅頭
伏村農園	紀州健康梅 たる梅	菓匠 錦花堂	天狗力餅
	紀州健康梅 自然干	株式会社岡畑農園	梅菓匠
井上梅干食品株式会社	リンゴ酢の梅	有限会社福亀堂	あべこべだんご
池本商店	しそ梅		
		幸梅漬	有限会社紅葉屋本舗
有限会社福梅本舗	まるやか梅	株式会社笹一	鯖棒寿司
有限会社福亀堂	フレッシュ梅	徐福寿司	さんま姿寿司
	自然干	中野BC株式会社	梅スピリッツ貴梅酎25%・40%
	優蜂蜜梅	株式会社梶谷産業	金時生姜の蜂蜜漬け
	優南高梅	株式会社伊藤農園	100%ピュア果汁 すだち・ゆず・レモン・だいたい
	南高梅	熊野黒潮本舗	黒塩・ゆず塩
有限会社福梅本舗	梅の鏡	根来塗曙山会	内段鉢
	華結	有限会社セレネ	紀州備長炭棒炭

紀州大地の会	有機有田みかん 100%ピュアジュース極み	有限会社総合	家庭用馬目小丸
株式会社伊藤農園	100%ピュアジュース (みかんしぼり・はっさくしぼり・ きよみしぼり)	文左	郷土玩具 鶏合せ 導きの八咫鳥 郷土玩具 宝馬
わかやま農業協同組合	生姜丸しぼり Wakayama Ginger Ale	津田商店	木製うるし塗賞状盆
まるとも海産	天日干し(しらす・ちりめん)	有限会社中山漆器	ミウラ折り般若心経
	釜揚げしらす	有限会社橋本漆芸	漆器調USBフラッシュメモリー
紀州日高漁業協同組合	衣奈そだち(真空パック)	紀の里農業協同組合	熟姫(キュウイフルーツ)
株式会社はし長	紀州のかつお焼き生節	加太漁業協同組合	加太のタコ
	太刀魚みりん	戸坂漁業協同組合	戸坂のハモ
株式会社もとや魚店	いわし生姜煮	有田箕島漁業協同組合	辰ヶ鱧
	うるめいわし一夜干し	和歌山南漁業協同組合	紀州ひろめ
	いわし柚子煮		紀州ひろめ(養殖)
株式会社やまね	カリカリウツボ	丸八水産有限会社	よしだ本鮪
有限会社銀ちろ	しらす山椒煮	橋本市観光協会	隅田八幡神社の秋祭
おざきのひもの	きびなご丸干し	和歌山市観光協会	黒潮市場・マグロ解体ショー
	片口いわし丸干し	那智勝浦町観光協会	紀州熊野のさんま寿司
	平子いわし丸干し	太地町観光協会	鯨料理
	うるめ丸干し	中野BC株式会社	紀州 梅のワイン
塩地商店	うつぼ甘露揚げ	株式会社世界一統	和歌のめぐみ (南部の 梅酒・桃山の桃酒・龍神 の柚子酒・有田の甘夏 酒・有田の八朔酒・由良 の檸檬酒)
南紀勝浦漁協食品株式会社	海の生ハム		
田端酒造株式会社	さところのお酒 純米吟醸		
	羅生門 鳳寿 大吟醸		
	大吟醸 紀伊国屋文左衛門 純米吟醸 紀伊国屋文左衛門		

●緊急新卒者就職支援対策を実施!

・10月18日、仁坂知事、神田和歌山労働局長、山口県教育長が、経済5団体(和歌山県商工会議所連合会、和歌山県商工会連合会、和歌山県経営者協会、和歌山県中小企業団体中央会、(社)和歌山経済同友会)に対し、県内新規学卒者の求人の確保及び採用枠の拡大について要請を行いました。



・来春卒業予定者、とりわけ高校卒業予定者を取り巻く就職環境は、昨年同様大変厳しい状況となっています。

・和歌山県、和歌山労働局、和歌山県教育委員会の幹部職員及び就職支援担当者等が県内事業所約1,200社を個別訪問し、求人拡大を要請するとともに、大学生や高校生の保護者の方々に対し、県内企業情報などを広く提供を行うなど、積極的に取り組んでいます。



和歌山の旬のこだわり情報をお届けします

秋しらす本番！

紀州の秋しらすがおいしい季節がやってきました。しらすには春しらすと秋しらすがあり、上質なカタクチイワシの子どもが揃うのが秋しらすの特徴だそうです。

和歌山県の沿岸では、黒潮の流れ込む紀伊水道で行う「しらす漁」が古くから盛んです。今回、明治36年創業の“(株)前福”さんのご協力を得て、私(食品流通課新人 T)が「しらす漁の流れ」を密着取材してきました。



① AM7:00 湯浅湾へ取材班到着
2隻の船で網をひく“パッチ漁”が行われていました。網の形がパッチ(男性下着のモモヒキ)に似ていることから、こう呼ばれるようになったそう。



② AM8:00 栖原(すはら)港
「おかえりなさいーい!!」あがったばかりのピチピチのしらすを乗せた小型船が続々と帰ってきました。
競りを前にして、真剣な眼差しでしらすを見定め中。
ふむふむ。。。私も真似しようとしらすを見てみるも…
「すみませーん！良いしらすを選ぶポイントを教えてください!!」

良いしらすを選ぶポイントは、

①鮮度②サイズが揃っている③色④エビやカニなどの混ざりものが少ないです



透き通った生しらす

③ AM8:30

しらすの香りが漂う漁港で、ついに“競り”が始まりました!!競りと言え、だんだんと値を上げていくものが想像されがちですが、栖原漁港では“札”を使った入札式の競りが行われています。

札と呼ばれる紙に、自分が買いたいしらすの値段を書いて、漁協の担当者に渡します。

「よろしいか？」と全ての札を漁協の方が集めていき、

「〇〇円、〇〇会社。」という感じでしらす競り落とされていきます。

“一発勝負”ならではの、緊張感を肌で感じることができました。





④ AM9:00 加工場へ

直ぐさま加工場へしらすを運び、釜揚げ。湯気がもくもくとたちこめています。釜ゆでををするときは、その日のしらすの状態やどのように干すかによって、塩加減・ゆで加減が変わるそうです。ここで、ピチピチの生しらすがふわふわの釜揚げしらすへと変身!!おいしそうな香りが漂ってきて…思わずお腹がすいてきました♪

⑤ AM9:30

早速、釜ゆでしたばかりのしらすを天日干し!この日は、天気も良好♪日当たりが良く、ぼかぼか。風通しも良く、しらすも気持ちよさそうでした。

前福さん、早朝の競りから加工現場まで見学させて頂き、ありがとうございました。



どうぞ召し上がれ!

生しらすを食べてもよし、釜揚げしらすもよし!…ですが、私がおすすめるのは「しらす丼」!!あつあつのご飯の上に、釜揚げしらすをたっぷり乗せて湯浅町の醤油をちょっぴりたらしませます。さらに、和歌山産のしそ、梅干しや海苔を乗せたらもう完璧!想像するだけでもたまりません!!

ぜひ、柔らかな食感を楽しむことができる和歌山のしらすをご賞味くださいね。和歌山県が運営する特産品ショッピングモール「ふるさと和歌山わいわい市場」(<http://www.wakayamaken.jp/>)でご購入頂けます。

ちりめんじゃこ+ぶどう山椒+湯浅の醤油 = “最高級のちりめん山椒”

天日干しされるとちりめんじゃこの出来上がり。太陽の恵みをいっぱい浴びたちりめんじゃこに生産量日本一のぶどう山椒と、前号で紹介した醤油の発祥地である湯浅町の醤油が加わると“最高級のちりめん山椒”が出来上がります。

運動会や遠足などの行楽シーズンで、おにぎりに入れてみてはいかが?ちりめん山椒が大活躍するでしょう!!



↓↓バックナンバーはこちら↓↓

<ぶどう山椒> http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071700/newsletter/newsletter_090521.pdf

<湯浅町の醤油> http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071700/newsletter/newsletter_100819.pdf

～ 救馬溪観音・紀州口熊野マラソン・歴史に彩られたまち（上富田町） ～

救馬溪観音（表紙写真）

・室町時代、病にかかり治療のため熊野を目指していた小栗判官。愛馬が病で動かなくなり困り、靈験あらたかだという観音に礼拝しました。すると愛馬はたちまち元気に。（判官の病も次第によくなっていきました）その伝承から観音は、「救馬溪観音」という名になったといわれます。救馬溪観音は、応永33年（1426年）小栗判官により再建、（開山は、役行者という）、開運厄除霊場として、また、約3万坪の敷地、一枚岩と一体となる寺院は、大自然を満喫でき、人気です。山門から本堂までは約1km。徒歩で約15分。参詣道には、四季折々の美しい彩り（桜、アジサイ……これからの季節は、もみじなど）が楽しめます。

紀州口熊野マラソン

・熊野古道の歴史あふれるマラソンコース。2kmのコースからフルマラソンのコースの24部門があります。（平成23年2月で16回目を迎えるマラソンです。）フルマラソンでは、熊野の神域への入り口とされる「滝尻王子跡」の近くを走ります。

・「制限時間が6時間」というのも初挑戦の方や楽しみながら走りたい方に嬉しい。

・1km毎に距離表示を設置。パンやバナナ・

梅干しなどを用意している給食所、13カ所の給水所があり、走るのをサポートしてくれます。走ったあとは、「食のコーナー」があり、ボランティアのみなさんのサービスで、心も身体もぽっかぽかに。（物産展などもあります）

・口熊野マラソンは、平成8年にスタート。その後、平成22年までに、4,000人を超える人が参加しました。「走る楽しさを子供たちに伝えたい」と家族での参加も多いです。

・自然豊かで歴史を感じるマラソンコースを走ってみませんか。

（ハーフマラソンとフルマラソンは、日本陸上競技連盟公認大会です。）

*お問い合わせ先：上富田町朝来763 上富田町役場内
紀州口熊野マラソン事務局



ボタン製造

・明治時代、洋服が普及。ボタンが必要となったことから、貝ボタンの製造が朝来村で始まりました。その後、ポリエステルを原料とした化学ボタンや、金属ボタンが製造され、今ではそれらのボタンが主流となっています。（他にアクセサリやベルトのバックルなども製造）

上富田町ホームページ <http://www.town.kamitonda.lg.jp/>

～編集後記～

猛暑の夏がようやく終わり、紅葉にはまだ少し早いですが、紀伊の山々も徐々に秋らしさを見せはじめています。

さて、9月25日～10月5日まで、千葉県において第65回国民体育大会（ゆめ半島千葉国体）が開催されました。和歌山県からも仁坂知事を団長に、多くの選手が国体に参加しました。

県代表選手の皆さんの大健闘のおかげで、男女総合成績は第37位となりました。昨年の新潟国体の第43位に比べて、順位を6つ上げる結果となり、目標としていた30位台を見事達成することが出来ました。選手の皆さんの頑張りとお優れた指導者の方々の努力が実を結んだもので、大変嬉しく思います。

5年後の2015年には、和歌山県において「紀の国わかやま国体」が開催されます。目標とする男女総合優勝を果たすため、さらなる競技力の向上と指導者の育成など、県をあげてあらゆる方面から努力していかねばならないと思います。皆様方のさらなるご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

和歌山では、ミカンや柿が色づきはじめ、収穫の秋、味覚のシーズンを迎えます。

皆様方にも、お時間がございましたら、是非和歌山にお越し下さい。

知事室秘書課長 藤川 崇

★「和歌山だより」Web版を和歌山県ホームページにアップしています。Web版ならではの美しい画面を楽しんで頂けますので是非ご覧下さい。

和歌山だよりに対するご意見・ご感想をお聞かせ下さい。また、皆様がお持ちの和歌山に関する情報をご提供下さい。今後、皆様のお声を紙面づくりに活かしていきたいと考えています。

（下記のFAX（様式自由）、E-Mail等でお願ひします。）

■FAX 073-422-4032

■E-mail e0001003@pref.wakayama.lg.jp

和歌山県のホームページ

<http://www.pref.wakayama.lg.jp/>

ふるさと和歌山応援サイト <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/furusato/>

*個人情報につきましては、「和歌山だより」の発行以外の目的には、使用いたしません。



2010年（平成22年）10月 NO.31
和歌山県 秘書課
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1
TEL 073-441-2022